【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」

学校だより　堂崎っ子

第 14 号
令和 8 年 9 月 29 日
南島原市立堂崎小学校
校　長　　末吉　優

アジア競技大会　愛知・名古屋2026



連日放送されているアジア競技大会では、日本人選手の活躍はもとより、アジア各地のアスリートの活躍には感動を覚えます。また、選手たちの姿を見ていると、「夢を抱くことってすばらしいな」と感じました。

大きな夢でも、小さな夢でも、“こうなりたい”“やってみたい”という気持ちがあると、毎日の練習や努力が少しずつ前向きになるのではないでしょうか。「努力を続けること」「仲間と支え合うこと」「あきらめず挑戦すること」の大切さを私たちに改めて教えてくれます。



選手たちが日々の練習を積み重ね、困難を乗り越えてつかんだ成果は、子供たちの学習や学校生活にも通じるものがあります。本校でも、子供たちが自分の目標に向かって努力し、仲間と協力しながら成長していけるよう支えてまいります。

今回の競技を目にした子供たちの中には、将来の夢を抱いた子供もいるかもしれません。皆さんは、どんな競技が印象的だったでしょうか？　10月4日までの日程で行われますので、この後の選手の活躍を期待したいと思います。

南島原市子どもメディア未来会議　10月12日（月・祝：スポーツの日）　12:30受付

近年私たちの生活とは切り離せないデジタルメディア（スマートフォンやゲーム、SNSなど）。

子供たち自身がメディアについて考え、意見を交わす場となり、また保護者との意見交換を行う機会となることを目的とされています。

◇　日　時　令和8年10月12日（月）　13:00開会
◇　会　場　ありえコレジヨホール
◇　主　催　南島原市青少年育成市民会議
◇　テーマ　「ゲーム・動画・SNSのよりよい使い方について」
◇　対　象　市内小中学生及びその保護者

参加申し込みメ切りが
10月7日(水)となっています。





また、会場のありえコレジヨでは、スポーツの日は恒例となりました「子ども会　e−スポーツ大会」も開催されます。

会場には体験ブースが設けられているそうです。デジタルメディア（スマートフォンやゲーム、SNSなど）に関心がある子供も大人も、「ゲーム・動画・SNSのよりよい使い方」に関心のある方も是非、参加してはいかがでしょうか。

４・５年生 宿泊学習　「大自然の中で、のびのび・生き生き過ごす」



<仲間との対話と協力：イニシアティブゲーム>

今年から2学年合同で国立諫早青少年自然の家を利用し、宿泊体験学習を実施しました。「自然とあそぶ。体験からまなぶ。」というキャッチフレーズのとおり、子供たちの感想からも充実した体験活動であったことを物語っています。大自然の中で体験することは、純粋な心を呼び起こします。そして、子供はいろいろなことを考えることができ、新たな行動力を育てます。



友達と対話・協力して課題を解決していくイニシアティブゲーム、ドキドキ、ワクワクしながらの沢歩きは、体験した本人にしか分からない感動・達成感を得たのではないかと思います。

楽しみにしながら、いつもとは異なり普段使わない体の隅々までを使い、テレビやゲーム等がなくても友達と協力し、アイディアを出し合い、自分たちの可能性の大きさを実感したことでしょう。これからは、この宿泊学習で体験したこと、考えたことを今後の生活に、活かすことが大切だと考えます。

＜　引率した教師の感想から　＞

1. 宿泊体験学習で感じられた子供たちのがんばりについて
　①5分前行動（子供たちには、なぜ5分前行動なのかを考えさせていました。）　②友達への思いやり　③協力
2. 頑張ったことを学級の活動、学校での生活にどういかすかが大切
3. 感謝をする気持ち（準備してくれた家族へ）

　今回の活動は、関わった先生方が、子供たちにどんなプログラムを計画し、体験させると教育効果があるか考えられました。天候に恵まれ、充実した活動が実践できたことが何よりです。夜は天体観測ができ、ふだんでは見ることのできない天体望遠鏡を使った星空観察、月のクレーターや土星の観測もできたと聞いています。

　安全に実行できたこと、貴重な体験ができたことへも感謝の気持ちを抱いてほしいと思います。



大人が手や口をはじめから出すのではなく、苦労をさせ、知恵を捻出するような機会を与えること、世の中の厳しさを体感させ、判断力を育て、より安全な行動へ実行させること、そういった中で、子供たちと大人、子供たち同士の対話・コミュニケーションが重要となるのではないでしょうか。

体験活動をとおして培うことのできる様々な力「生きる力」を子供たちは見事に発揮し、私たち教師、そして何よりも家族の皆さんが発見できたのではないでしょうか。子供たちの内に秘めた力を確実に育てていきましょう。



